

トークスクリプト（台本原稿）

[記入にあたっての注意]

- ・全体の文字数が日本語 2500 字以内になるようにして下さい。
- ・セルは広げて構いません。
- ・不要なスライドの箇所には何も書き込まないでください。

スライド番号	トークスクリプト
スライド①	我々のグループは the KOBE というテーマでエカテリンブルクの人々に神戸の街を観光してもらいたいと思っています。神戸を一日で堪能できるようなツアー。しかし、旅行に来てくれる方々、個人が興味の持ったところに行けるという自主性も重視したツアーになっています。
スライド②	神戸に別の観光地から新幹線で 12 時前後に到着するとします。ちょうどお昼時ということで最初にお昼ご飯を食べてもらいます。一番初めに神戸が世界に誇る神戸牛を味わってもらおうと考えています。場所は、新神戸の駅の近くに神戸ビーフの館というお店です。このお店は神戸牛というもの自体を知りつつ、目の前の鉄板でシェフが焼いてくれるというただ食べるだけではない別の面白さがあると思っています。
スライド③	次は、日本有数の地酒が飲める灘五郷に行ってもらい日本酒を飲んでもらいます。ここの周辺地域では日本酒造りに適した上質の酒米が取れ、ミネラルが豊富な地下水もあり美味しいお酒を醸造することができました。ここでお酒を飲んで楽しむのもいいですし、日本酒が苦手だという人には、灘五郷は江戸時代からある建造物も多いえ醸造所の中を見て楽しんでもらうことができると考えています。
スライド④	灘五郷のことを知ってもらった後は三宮に帰ってきてもらい、生田神社で少しだけ神戸の歴史についての話を聞いてもらいます。神戸は現在に至るまで港町として発展し栄えてきました。貿易都市として海外との交流があり西洋風の建物が多くあり、北野異人館や旧居留地には美しい建物が数多く現存しております。しかし、歴史的な建物が残っている一方で第二次世界大戦の戦禍に巻き込まれたり、阪神淡路大震災によって建物が倒壊するなどいろいろなことがあるたびに復興してきた街でもあります。
スライド⑤	生田神社で神戸という街についても知ってもらった後は自由行動とし買い物や周辺地域に各々観光してもらったりします。日本のサブカルチャーの買い物が見たい人や南京町に行ってみたい人、ショッピングを楽しみたい方はセンター街に、一方日本の古くからある商店街を堪能したい人には元町高架通商店街にここは神戸の中心地的な存在でありここに行くと神戸の人々の日常を見ることができます。センター街にはインフォメーションもあり様々な場所に行く手助

	けもしてもらえます。
スライド⑥	観光地としては先ほどの話にも合った異人館や旧居留地、新神戸の駅から少し歩いたところにあるロープウェイに乗ってもらうと神戸を一望できます。神戸の夜景は現在 1000 万ドルといわれていてとても鮮やかな街並みを見ることができます。ちなみにこの 1000 万ドルは電気代がそれほどかかるという意味です。そして神戸は戦後ジャズの文化が根付き落ち着いた雰囲気のあるジャズ喫茶が多数ありそういった場所で休憩してもらうのも良いと思います。
スライド⑦	各々買い物や観光してもらい夜ご飯も観光してくれている人達に選んでもらいます。日本独特の文化でもある居酒屋でお酒を楽しんでもらいながら食べてもらうと神戸の人々の暮らしをよりわかってもらえる気がします。また、純ロシア料理屋のバラライカで食べてもらうのもいいのではないかと思います。日本のロシア料理はロシアの人々からしてみるとロシア料理ではないと言われてるらしく、その味の違いを楽しんでもらうというのも面白いと思います。
スライド⑧	夜ご飯も食べていい時間になると思うので、メリケンパークオリエンタルホテルに泊まり、港を見ながらゆっくりしてもらおうと思います。ちなみに、このホテルから見える夜景もとても綺麗といわれており、もし山の方面から夜景を楽しんだ方がいても違う景色が楽しめ満足してもらえるとと思います。
スライド⑨	次の日の朝は少し早めに起きてもらい、有馬に行ってもらおうと考えています。その周辺で朝食もとってもらい、温泉に浸かってもらい旅行で疲れた体を癒してもらおうと思います。ところで、有馬温泉には二つの湯の種類があり金泉といわれる冷え性や腰痛、関節痛、末端の血行不良などの体に良い効果があります。さらに肌の新陳代謝も促進する作用があるメタケイ酸も含まれており保湿効果も期待できます。もう一つは銀泉といい炭酸ガスが湯に溶け込んでいるため、この湯を肌から取り込むと毛細血管の拡張、血流を促進しむくみを解消してくれます。さらに、高血圧や、抹消動脈閉塞性疾患、機能性動脈循環障害、機能性心疾患といった血管の症状に効果的とされています。もし、温泉に入るのに抵抗があるという方は足湯で足だけということも可能です。
スライド⑩	こうして疲れをとってもらい、三宮まで帰ってきてもらうとこの神戸の旅は終わりとなり、次の観光地に元気よく旅立ってもらいます。